

一般質問
9議員登壇

市政を問う

フラワーパークは中止を

市長／白紙に戻す考えはない



徳峰 一成 議員

徳峰議員 利用、収支計画がおおざっぱではないか。

4点を質問したい。フラワー公園は、市外の利用者を8万人と見込んでいる。これは過大な見込み数ではないか。

池田市長 今後見直しをしたい。

問 パークゴルフ場は、年間の利用者を3万7500人と見込んでいる。しかし市内、市外の利用者を分けていないなどおおざっぱではないか。

市長 次回の議会までに内訳を示したい。

問 グラウンドゴルフについて。

市外の利用者は期待できない。一方、市内の利用者をわずか6千人と見込んでいる。このために何億円も金をかけて建設するのか。

市長 6千人より多くなるのではないか。

問 グラウンドゴルフの年間の収入120万円、支出129万円は、数字が一ケタ小さい。

市長 グラウンドゴルフの支出が少ないのはパークゴルフの支出で計算に入れたことによる。

問 どんぶり計算とは納得できない。

市長 今後見直しをしたい。

問 次に、環境問題を考えず建設予定地を決めた点について。

胡摩地区は、昔から畜産が集中している。なぜ、悪臭の調査をしなかったのか。

市長 2回ほど行っただが、体感では問題なかった。

問 ハエについてはどうか。

市長 ハエが多い場所ではないと思う。

問 調査をされたうえで答弁か。

市長 今後、調査を行いたい。

問 次に、排水対策について。

答弁や事業計画などからして、対策が十分ではないか。

市長 今後しっかりした事業計画を出したい。

問 以上の質疑で利用、収支計画、環境や排水対策が不十分であることが明らかとなった。この為、今回提案されたフラワーパーク建設の予算は、白紙に戻すよう要求したい。

市長 白紙に戻す考えはない。

財部温泉センター 従業員の賞与支給は

問 平成22年度の賞与を従業員に支給しなかったのは、市に落ち度があったと答弁があった。

市長 今後は、何らかの形ですべての従業員に賞与を支給すべきだ。

建設予定地から 1.5km 圏内にある
畜産関連農場の現状 (市長答弁より)

農場等	箇所	頭羽数
ブロイラー	5	108,000
鶏 卵	2	640,000
肥 育 牛	1	2,000
豚	9	5,000
畜産企業	1	6,000

有機センター脱臭棟の 倒壊の原因は

市長／現在調査中である



今鶴 治信 議員

今鶴議員 曾於市有機センター脱臭棟の屋根が倒壊したが原因は何か。



倒壊した有機センターの脱臭棟

池田市長 当時請け負った設計及び施行会社に倒壊の原因について究明を求めたところ、脱臭棟内の木材部材が湿潤状態で部材の強度が低下し、破断したため、倒壊したとの報告があった。

問 今後改修はどのように行うのか。

市長 倒壊した脱臭棟は、3月までに解体撤去し平成24年度予算により改築の予定である。

問 有機センターの管理については、市職員は常駐させないと聞いたが、これからどのように運営・管理していくのか。

市長 行革に伴う職員の定数削減に伴い、平成24年度から有機センターの管理運営を外部委託する予定である。管理運営の方法としては、現在の作業員全員を引き続き雇用することとし、市職員に変わる2名の職員を新たに常駐させて、曾於市の直営として引き続き運営を行っていく。

岩川高校



財部高校



末吉高校



再編の渦中にある市内県立高校

公立高校

再編について

問 曾於市内に3つの公立高校があるが、今後とも存続できるか。

市長 曾於市では、市教育活性化対策委員会高校部会で意見を出してもらい、今まで5回の部会を開催した。この部会で、まず第一段階として、末吉・財部を再編統合し、岩

川高校は、ここ2、3年自助努力を發揮することで意見をまとめ、「大隅地域の公立高校の在り方検討委員会」に報告したところである。

例えば、地元高校に在籍する生徒のバイク免許取得の助成や、バス通学の定期券の助成など。

問 高校の授業料無料化に伴い、曾於市の特別奨学金制度が廃止されたが、これに代わる地元高校に入学する生徒への支援または、高校振興対策は新たに考えているか。

教育長 具体的な対策はまだ考えていないが、ふれあいバスなどの利用を含めて、何らかの手立てを考えていかなければならないと思っている。

安全安心なまちづくりは

市長／防災組織の充実を図る



迫 杉雄 議員

迫議員 地域住民が
深川駐在所の存続を要
望し、県警察本部長に
1442名の署名を添
えて、陳情がなされた。
今後、犯罪防止や抑
止力の観点から市長に
おいては、県警の再編
計画にどのような対応



気をつけていってらっしゃい（柳迫交差点）

が考えられるか。

池田市長 県に提出す
る「存続を望む陳情
書」を拝見し話を伺い、
地域の考えを十分理解
したところである。今
年12月まで結論が延ば
され、今後地域の意見
を取り入れて再度検討
されると思う。

問 自主防災組織につ
いての対応はどうであ
るか、組織率の向上と
今後の対応はどうであ
るか。

市長 地域住民の連帯
により、防災活動が消
防行政に取り入れられ、
自主防災力の向上を目
指している。

今まで自治会を単位

とした組織率は42・9
%であったが今回、16
の校区公民館が設立し
て、組織率が66・7%
となり組織活動を維持
するための施策等を検
討する。

問 犯罪発生に対して
は連携やコミュニケー
ションが必要であるが、
今後の取り組みについ
てどうか。

また、川内団地でのタ
イヤパンク事件のその後
の対応はどうであるか。

市長 自主防犯に地域
パトロール隊や見守り
隊の29団体が加入し、
日々活動をされている
ので、連携をとりなが
ら、協力をいただき、
取り組んでいく。

川内団地の駐車場に
は、平成23年度で5基、
平成24年度で10基の防
犯灯を設置する。
防犯カメラの設置は
現在検討していない。

メセナ温泉の 宿泊施設の増設を

問 メセナ温泉の宿泊
施設の増設の必要性に
ついてどうであるか。

市長 増設について必
要性は感じている。
今のところ具体的な
検討はしていないが、
今後検討したいと考え
ている。

問 温泉の利用増はも
とより、観光の観点か
ら宿泊も県内外に発信
して、スポーツ文化等
団体の合宿誘致に努力
すべきではないか。

市長 県などを通じて
大学等のスポーツ合宿
の案内はあるが、宿泊
施設が収容しきれない。
色々な観点から対応し
ていきたい。



安心安全の為に防犯灯

フラワーパーク公園づくりは中止を

市長／議会が否決したときに考える



五位塚 剛 議員

五位塚議員 胡摩地区について市長はどうか考えているか。

池田市長 市の中心地域であり、フラットで高齢者等に利用しやすい。また、山林であり用地費が安価である。

問 市民の声はますます建設中止の声が広がっている。中止すべきではないか。

市長 建設中止の声があることも承知している。推進の声も多くあ

り、地域活性化につながるので中止の考えはない。

問 相続ができてない地権者と筆数はいくつか。

市長 個人で17名の32筆、共有名義で2筆あり合計34筆である。

問 この建設場所から1.5km以内に18の農業施設があり、ニオイ、ハエなど問題はないか。

市長 二度ほど足を運んだが、ニオイは感じなかった。

問 私はこの下流で田を作っていたが、ニオイ、ハエ、便所バチなどで、とても観光客を

呼べるところではない。どうか考えるか。

市長 ニオイの問題は調査する。

問 この事業はたいへんな赤字が予想される。どう責任をとるのか。

市長 合併記念としてこのまま進めていきたい。

問 議会が否決したら尊重するか。

市長 議会が最終判断した場合は、その時に考える。

ハム・ウインナーなど手作り加工所を

問 ナンチク等と協力しあって観光や市民の手作り加工所の建設はできないか。

市長 加工所の建設はできないが、技術的指導の協力が得られれば既存施設の活用を考えたい。

問 畜産の市として、子どもたちにハムやウインナーの手作り加工の体験をさせることは大切なことではないか。

また、観光客を呼ぶためにも必要ではないか。

市長 畜産の加工を含めて農産物の加工を高めていくことは大切である。県が大隅半島の農産物加工体験施設の考えもあるので、県と一体となって前向きに検討したい。



ピカピカの調理場（大隅農産加工センター）

市長 88件の937万円の補助を見込んでいる。

問 この事業の経済効果は大きいと考えるがどうか。

市長 事業効果は1億5千万円程で大きいと考える。

問 給湯器やサッシ取替など、大工工事や労務費が伴う工事についても支援を広げるべきではないか。

市長 労務費が伴うものは考えていく。



胡摩地区の予定地で説明中

住宅リフォーム支援の強化を

問 平成23年度の住宅リフォームの実績はいくらか。

パークゴルフ場・フラワーパーク計画の経済効果は

市長／完成までに13億円の効果、雇用も期待できる。



土屋 健一 議員

土屋議員 パークゴルフ場、フラワーパーク計画において曾於市内への経済効果は。



人気のパークゴルフ

池田市長 用地取得、工事全般で約13億円の経済効果を見込んでいる。

問 雇用促進はできるのか。

交流人口をどれくらい予測しているのか。市の特産品の販売効果へ結びつけられるのか。

市長 雇用も創出できる。完成後は年間10数万人の交流人口を見込んでおり、5千800万円の経済

効果がある。

特に管理作業面でシルーバー人材センターの活用は増え、雇用につながる。特産品のPRや販売にも結びつけたい。

問 胡摩地区は交通の利便性、景観、そして畜産事業所との共存等適地と判断しているのか。

市長 審査会の決定は尊重したい。

市の中央に位置し、交通面でも便利であり、地形も割合平坦である。悪臭やハエも心配されるので、環境調査を民間の機関へ委ねて結果をみて判断したい。

児童数の減少にどう対処されるか

問 市内児童生徒の学力は全国・県でのレベルにあるのか。学力向上対策は取っているのか。成果は上がっているのか。

植村教育長 小学校は全国レベルにあるが、中学校は全国レベルに及ばない。

小学校の算数は全国より上回るが、国語は下回っている。中学校は数学も全国には及ばない。

県が実施する基礎・基本定着度調査の最新結果では、小学五年生は全教科で県に及ばず、

中学一年生も同様である。中学二年生は数学と理科で上回るが、他の教科でやや及ばないところである。

平成23年度から「教師力向上講座」を実施している。学力向上対策協議会も設置しているので、目的を達成したい。

国・県レベルに達しない面もあるが、定着度調査の度に前回調査を上回る結果が出ている。全教科の平均ではすべての学年で向上している。

今後、学力向上と生徒指導を一体的に取り組み「定着する授業」を目指す。

教育長 頑張りたい。



電子黒板による授業

茶業振興は

市長／関係機関と一体となり取り組む



渡辺 利治 議員

問 茶業振興貸付基金の目的と活用方法は。

市長 合併前は末吉・財部で、合併により大隅も活用できる。

新植、改植にかかる経費を貸付け初期投資の負担軽減を図る。

問 早急な取り入れを望むが解決策は。

市長 平成24年度中に一般会計補正も考えている。

問 10a当たり一年目20万円、二年目10万円以内で7年以内の一括償還で無利子である。

問 県茶業大会（曾於

市会場）の本市の取り組みは。

市長 銘茶研究会も設立され、品評会対策費として737万円を当初予算化し、大成功に向け取り組む。

高齢者見守り対策事業について

問 高齢化社会の実態をどうみるか。

市長 曾於市の高齢化率は現在34%で、上昇する傾向である。

地域での見守りの必要な高齢者が、さらに増えると予想される。

問 見守りの現状はどうか。

市長 市内26ヶ所の地区社会福祉協議会を核に、在宅福祉アドバイザーによる見守り活動を実践しているが、考え方や取り組みに差がある。



曾於市地域福祉ネットワーク会議

問 役員引き受け手のない現状で、今後どのような対策を講じて、安心安全な高齢化社会を築くのか。

ようにする。また、市の訪問専門員と併せて高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指す。

市長 各自治会長、班長、またその奥様方へのアドバイザー活動は難しいと考え、毎月の見守り結果の報告に対する報酬を予算化し、複数年、務めてもらう

渡辺議員

畑かん地域でのお茶の節水型散水器具の普及と導入については。

池田市長 従来型より6割の節水効果があり、農家や関係機関と一体となり検討する。



稼働中の防霜スプリンクラー

メセナ温泉の現在の喫煙場所は適当か

市長／場所の移動、分煙対策を早急に行う



原田 賢一郎 議員

原田議員 メセナ温泉の喫煙場所は現在の場所が適当か。



メセナ温泉センター内喫煙所

池田市長 今の場所は適当でない。

問 今までに喫煙場所に対する苦情はなかったのか。

市長 苦情はあった。

問 喫煙場所を変えてくれとの声があるが、なぜ改善できないのか。

市長 場所の移動、分煙対策を早急に行う。

小・中学校におけるセキユリティーは

原田議員 市内小・中学校におけるセキユリティーの実態は。

植村教育長 市内小・中学校併せて26校ある

が、小学校は、岩川小、末吉小、財部小の3校。中学校は、大隅中、末吉中の2校完備されていて、現在建設中の財部中も設置の計画である。今のところ市内6校のみである。

問 セキユリティー対策を強化すべきではないか。

教育長 大きな効果を発揮するので、前向きに検討する。

粗大ゴミ処理の改善を

問 粗大ゴミ処理の改善策を。

市長 合併して大隅と財部の両一般廃棄物最終処分場が閉鎖され、粗大ゴミ処理において、特に高齢者や車のない方が不自由をきたしているが、両町における実態は。

市長 施設の延命化を図るため、大隅と財部の処分場への搬入は行っていない。末吉のクリーンセンターへのみの搬入である。

問 大隅、財部、両町への粗大ゴミ回収の手立てを講ずるべきではないか。

市長 市内全域的に改善すべきなので、プロジェクトチームをつくり、大崎町の事例に近づけるような方法がいいのか具体的な調査を行い検討する。



収集された粗大ゴミ（曾於市クリーンセンター）

災害対策は万全か（東日本大震災から1年を迎えて）

市長／市地域防災計画に基づいて行う



山下 諭 議員

山下議員 風雨の自然災害は、時系列的にまた、ピンポイント的に予測があるので予防できず、地震はできない。現時点での対応を問う。公共建造物対策は。

池田市長 学校施設で49棟の耐震調査を実施した。うち27棟が補強改築の必要がある。平成27年度まで実施の計画。社会教育施設の公民館、文化センター、体育館で基準法改正前の施設が11あるので検討する。

市営・市有住宅では、1166戸中新基準で建設されたものが762戸、他は今後耐震診断を実施する。橋梁は、市道と農道を合わせて2226ある。基準改正前架設の

190の橋は、調査を検討する。

問 洪水時に冠水が予想されるところは。

市長 県水防計画では、末吉柿木地区50戸、財部中谷地区45戸、堤地区125戸、南・市之坂地区200戸を予想しており、大隅地区はない。

問 水道は大丈夫か。

市長 平成17年水道事業の耐震基準が示され、それ以後に建設した、下窪水源地、同配水池、八反水源地、高松配水池、城山水源地は耐震化されている。それ以前に建設した配水池19ヶ所、浄水場16ヶ所は診断して整備する必要がある。送配水管は延長が長いので、基準に該当するように布設替工事時に実施しているが、水道財政の状況を見ながら行う。

問 ダム決壊のおそれは。

市長 本市には中岳ダム、谷川内ダムがあるが、河川管理施設等構造令に基づいて施行されているので、気象庁発表の震度とは単純に比較できない。東日本大震災で安全性に直ちに影響を及ぼす被害報告はない。

毎月堤体の挙動観測を行い、万全の体制ではある。

問 避難場所の表示設置をすべきである。

市長 市が指定した避難場所施設は32ヶ所ある。表示板のないところは、設置する。

市長 市が指定した避難場所施設は32ヶ所ある。表示板のないところは、設置する。



ドクターヘリ出動中

市長 消防署と運行会社で該地の面積、平坦地、障害物の有無、2方向の進入出路確保の基準で選定されている。市の意見は求められていない。

問 財部南地区は500戸を超える地域である。隣接して3ヶ所ある地域もある。市も意見を云うべきである。

市長 今後、県へ申し入れていく。

ドクターヘリの離着場は

問 平成23年12月26日から県のドクターヘリが運行されている。市内の離着陸場は24ヶ所（財部6、大隅6、末吉12）である。財部の南校区はないが。

毎月堤体の挙動観測を行い、万全の体制ではある。



曾於地区防災訓練

曾於市の街づくりを どう評価するか

市長／均衡ある発展を目指す



大津 亮二 議員

大津議員 これまでの街づくりをどのよう
に評価されているか。

池田市長 旧3町の特
徴を生かし、均衡ある
発展を念頭に各種事業
に取り組んできた。



多くの人で賑わう そお市民祭

問 街づくり計画や総
合振興計画で、見直す
べき課題はないか。

市長 過疎化が進む中、
自助・共助・公助によ
る政策が重要かつ必要
とされる時代になって
きたと感じている。

課題として安心・安
全な街づくり、健康な
街づくりや、自然豊か
な地域資源を生かした
観光の振興・産業振興、
市民参加の共生協働の

街づくりの推進、防災
対策や危機管理等があ
げられる。

問 事業評価をするの
には政策評価制度を取
り入れる考えはないか。

市長 早い機会にやら
ないといけない段階で
あると考えている。

問 地域ごとに特徴あ
るエリアを定めた街づ
くりは考えられないか。

市長 今までは事業平
準化のために取り組ん
できた。

今後、地域に根付い
たものを重視して取り
組むことも、進めなけ
ればと思っている。

農業後継者新規就農 者支援制度について

問 新規就農者支援補
助金の実績と課題は。

市長 7年間で102
名を認定し、支援金総
額1億3774万円と
なっている。

問 2年間の支援の取
り組みだが、3年目以
降も支援が必要ではな
いか。

市長 平成24年度から
国の制度も導入される
と聞いており、現状の
ままでいきながら国の
制度を見守りたい。

花房峡憩いの森の 振興策について

問 現状をどのように
分析されているか。

市長 20周年を迎え、
記念事業で植樹を行い、
6種類約130本の桜
を植樹した。

過去3年間の平均利
用者は1万933人、
宿泊者数2281人で
当初からすると少なく

なっている。今後、国
道側からよく見えない
ので、場内や斜面の
照葉樹林を残しながら
間伐を行う計画である。
国道側に展望施設等も
検討したい。

県道側から遊歩道・
歩道橋を通り、徒歩で
行けるが、案内板や道
しるべがないので検討
したい。
施設も老朽化してお
り、年次的に改修したい。



花房峡憩いの森 20周年記念植樹祭